

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: SMC株式会社/熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内では共有、実践している。	●		「経営理念」「長期経営ビジョン」を各事業所で各部署ごとに共有しています。																					17								
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		「SMCグループ企業行動指針」を制定し、内部統制による監査も定期的実施しています。																					16								
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		「SMCグループ行動規範」や運用マニュアルにより従業員へ公正な対応を義務付け、自由で公正な競争を行うことを宣言し、不正競争行為に関与することを禁じ、法規制の遵守を明記しています。											10									16									
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		CSR委員会等の社会・環境問題に取り組む委員会、プロジェクト及び担当部署を主に大規模事業所に設置し、社会・環境課題に対応する取組みを推進しています。SDGsにおける活動については、推進プロジェクトを設置しています。																					16								
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		「SMCグループ行動規範」において、知的財産・ブランドを守ることを宣言しています。											8.2 8.3	9																	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		「個人情報管理規程」その他の社内規程を制定し、「個人情報保護対策」に関するガイドラインにより、従業員への周知をはかり、個人情報の保護と適切な利用に取り組んでいます。																					16								
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		コーポレートコミュニケーション室を設置し、株主・投資家をはじめとする各ステークホルダーに対して、適時適切な情報開示を実施しています。																				16	17								
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及び生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		仕入先各社と「取引基本契約書」を締結し、年に1度のサプライヤーへの説明会でパンフレットなどを配布し遵守していただくようになっています。						5					8		10			12	13	14	15	16	17								
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		モノづくりを支える自動制御機器の総合メーカーとしての製品供給責任を果たすため、BCPを策定し、適宜見直しを実施しています。													9			11		13.1			16	17							
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●														8	9									17							
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●						1	2								8						12	13	14	15	16	17					
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則においてハラスメントを禁じ、労務相談窓口を社内外に設置し、誰でも相談できるような体制を構築し従業員に周知しています。全社員に行動規範教育を実施(eラーニング)済みです。													8.5 8.7 8.8						10.2 10.3			16.1 16.2 16.7							
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会の設置要件のある事業所では委員会活動を通じて、労働災害の撲滅について、活動を行っています。																	3					8.8							
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		法令及び同一労働同一賃金の原則を遵守して、すべての従業員に対して、賃金規程、職層・人事等級規程により役割を明確化し、役割に応じた賃金設定を行い、公正な待遇を行っています。																					8.5	10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		時間外労働者や従業員側に対し時間外管理について36協定の内容を踏まえて教育を行っている。また、不正な行為が行われないようデータ等により監査を行っています。																			3				8.5 8.8	10.3					
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		各種の教育・研修制度を設け、キャリアプランに応じた研修体系を整備し、従業員の能力開発支援を行っています。また新たに人材開発課が発足しより充実した研修体系を整備しています。																						8	9						
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康診断、人間ドック等の費用の会社全額負担による受診率100%を実施し、従業員の健康管理に努めています。																							17						
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性の活躍を促す研修会の実施、障がい者の活躍できる職場を事業所内に設置しその特性を生かした業務の推進を行っています。外国人労働者に対し、SMCグループ行動規範に「従業員の人格尊重および差別の禁止」の明記し推進しています。																						8.5	10.2 10.3	16.7					
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等導入している。	●		WEB会議や在宅勤務を推進するとともに、サテライトオフィスを設置して、「三密」の回避に取り組んでいます。併せて来訪者には体温チェック・除菌協力依頼を実施しています。																						3		8	9.1	11	12		
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		CRM、LMS、BIツールなどITツールを活用して、営業生産性の向上に取り組んでいます。																							8	9.1	11	12			
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																										3	4		8	9	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: SMC株式会社/熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		法令により規制されている有害化学物質を把握し、適正に管理しています。ISO14001を取得し、化学物質の適正管理や環境法令の遵守に取り組んでいます。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		全社においてエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握し、会社ホームページやCSR報告書で報告し、製造工程におけるCO <sub>2</sub> 削減製品を開発し標準化し、CO <sub>2</sub> 排出量の削減に取り組んでいます。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		全社において温室効果ガス排出量を把握しています。また、温暖化係数の低い代替フロンへの切換えや、化学物質の使用量削減(蒸発防止、持出防止、再利用)、製品をよりコンパクトに、より軽く設計することで、原材料を低減し、製造プロセスにおける加工時間の短縮を図った製品の生産を通じ、CO <sub>2</sub> 排出の低減に努めています。 <a href="https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS00674b/cc6d5814/6cc3/4c4c/9c15/cf4b7a60724e/20201223145233888s.pdf">https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS00674b/cc6d5814/6cc3/4c4c/9c15/cf4b7a60724e/20201223145233888s.pdf</a> 添付URL内P15~P18の会社としての取組み状況ご参照下さい。			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		環境負荷物質の使用削減と、排気・排水、廃棄物の適正処理の徹底に取り組む、ISO14001の審査を毎年受けています。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		廃棄物についてはコピー用紙、パソコン、切削切粉、廃油、廃プラ、廃液などの3Rに取り組む、ほぼりサイクル、リユースを達成しています。原則リサイクル又はサーマルリサイクルの処分のみとし、完全な分別を行っています。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事業所内での節水に取り組んでいます。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		研究開発部門を中心に、グリーン調達の実施に取り組んでいます。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		工場を中心に各事業所において、植栽及び観葉植物を設置し、できる限り緑化を実施しています。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		工場立地地域において、地域の緑化活動に参加しています。						6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4			11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO <sub>2</sub> 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO <sub>2</sub> 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいる。	●			全社においてエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握し、製品をよりコンパクトに、より軽く設計することで原材料を低減し、製造プロセスにおける加工時間の短縮等を通じ、計画的にCO <sub>2</sub> の削減に取り組んでいます。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.2	



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: SMC株式会社/熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		「SMCグループ行動規範」に製品の安全性に留意し、適切な対応を心掛ける旨を明記しています。製品の取扱説明書に、安全上の注意に関する適切な表示を行っています。			3.9							9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		カタログや印刷物等に、ユニバーサルデザインフォントを採用しています。また、障がい者用のトイレの整備、階段への手すり、スロープの設置などを通じて、誰もが利用しやすい環境整備を図っています。									9.1	10	11.7									17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	省資源・省エネルギー性能に優れた製品の開発と供給に、技術、製造、営業が三位一体となり、グローバルに地球環境保護に努めていきます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		各事業所の立地地域において、防犯・防火、清掃活動などに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		各事業所において棚の転倒防止や非常用物資の備蓄を実施しています。全社で安否確認システムを導入し、定期的に訓練を実施しています。				4							11.5		13.1			16					
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	日本SDGs協会から認定を受け、SDGsを企業の基盤とする取組みを行っています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4					8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4					8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。